

発行/市民活動サポートセンターいなぎ
運営協議会

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2-1-12-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail: info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

平成17年4月に開設した市民活動サポートセンターは、間もなく開設から2年を迎えようとしています。

行政との協働で、サポートセンターを運営してきた私たちは、昨年12月に「特定非営利活動法人(NPO法人)市民活動サポートセンターいなぎ」として法人格を取得し、いよいよ活動の第2ステージを迎えることになりました。

今回私たちが立ち上げたようなNPO法人は、一般に中間支援組織と言われています。

それは市民活動団体の運営・活動に関する連絡・助言・援助を行うことを目的にしているからです。そして中間支援組織には、市民活動と行政、企業など多様な組織を仲介し、支援・連携を行うな

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の 会員を募っています

ど、市民活動を促進する上で中心的な役割が期待されています。

◆ ◆ ◆
これまでは、行政からの公募に応じた市民21名が中心となって活動していました。

しかし、中間支援組織としてさらに活動を発展させるためには、希望すれば誰もが参加できる開かれた組織に変えていく必要がありました。

そういった理由もあって、今回法人格を取得することにしました。すなわち、もっとたくさんの方に、サポートセンターの活動に参加していただきたかったからです。

◆ ◆ ◆
市民活動は、従来の企業や行政などのように縦型組織ではなく、ネットワーク型がいいと言われています。人と人、人と団体、団体同士がパッチワーク的に結びつくことにより、まちづくりを進める上で、より大きな力になるからです。

そのネットワークの中心に位置するのが中間支援組織です。

法人化をきっかけにして、私たちは組織の見直しを進めています。それは、事業実施

や施設運営に係る様々なプロジェクトを立ち上げ、そのプロジェクトが中心になってサポートセンターの様々な活動を推進していくとするものです。

そうすることで、個々のアイデアや力がより反映しやすくなり、サポートセンターの活動に活力と広がりをもたらすと考えています。

◆ ◆ ◆
以上のような理由から、まちづくりに関心をもつ様々な皆さんに会員になっていただき、市民活動の拠点施設であるサポートセンターを共に支えていただきたいと願っています。

入会を希望される方は、サポートセンターまでご連絡ください。お待ちしております。

●年会費は

- ① 正会員 (個人及び団体) 3,000円
 - ② 賛助会員 (個人) 1口1,000円で1口以上
 - ③ 賛助会員 (団体) 1口1,000円で5口以上
- ※10月以降に入会した場合、その年の会費は上記の半額です。

写真展示会第2弾

いなぎのお花見案内

好評だった水田紀行に続く第2弾です。

■と き/3月6日(火)~29日(木)

■とこ/地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター

■主 催/フォトクラブいなぎ

(連絡先 小林 ☎331-2838)



小学生やPTAも巻き込んで

上谷戸緑地体験学習施設

●地域住民で支える

昨年4月に上谷戸緑地体験学習施設（館）がオープンしましたが、その管理運営は、指定管理者として坂浜自治会に委託されています。

同自治会では、6人からなる管理運営委員会を設置し、そこが中心となって、今年度も様々な活動を行ってきました。そして、その活動には、地域の農業者はもとより、長峰、若葉台地区からも多くのボランティアが参加していて、まちづくりのモデル事業として注目されています。

そこで今回は、この施設の管理運営委員会代表の榎本壮一郎さんと管理人の荒木富士男さんに、その活動状況を聞いてみました。

▼後方の建物は上谷戸緑地体験学習館



若葉台公園から鶴川街道・弁天橋手前までの上谷戸川周域約2万2千㎡は親水公園として整備されています。そのうち、上谷戸大橋の下周辺、1万2千㎡が上谷戸緑地体験学習として整備されました。

施設の中には、水車や緑地体験学習館のほかに畑もあって、そこを活用しながら農業体験や昔の坂浜の生活を伝える事業を行なえるようになっていきます。

★ ★
これまで実施してきた体験事業は、サトイモやサツマイモの植付け、ソバの種まきと収穫、コムギの種まき、いも煮会などです。

また昨年11月には、ここを会場として「いなぎくらしフェスタ」も開催され、約3,500人が参加しました。その時には運営委員会が、いも煮（400食）、ソバ（400食）、焼きソバ（300食）、焼いも（150～200本）を用意し大好評だったそうです。

もちろんこの間には、畑の施肥や除草、植込み地の除草、雑草地の刈り込みや低木の剪定なども行って

いて、これらの作業には、地域の農業者有志や地域住民、長峰小学校の児童やPTAなども参加しているとのことでした。

★ ★
取材の日に、長峰小学校の児童から届いたお礼の手紙や、カレンダーなどを見せていただきましたが、こうした活動を通じて、子どもたちと交流ができることをお2人とも、とても楽しんでいる様子でした。

この施設の果たす役割とそれを地域住民が担うことの大切さを強く感じました。

※施設の利用方法・申込みは

☎331-7112番へ

●上谷戸川にホタルを…



上谷戸地区でもう一つ、まちづくりの新しい動きがあります。「上谷戸ホタルの会（榎本征史会長）」ができたことです。数年前から、グリーンウェルネス財団が中心となり、地元の協力を得てホタルの幼虫やカワニナを試験的に放流してきました。それが実って昨年夏にホタルの飛翔が確認されました。最も多い夜で約40匹も確認できたそうです。

これを契機に、「ホタルの会」と財団は、協力してホタルの名所づくりに取り組んでいきたいとのことでした。

このあたりは、ニュータウン造成が始まる数年前までは、ホタルの名所で、家の中にまでホタルが入ってきていました。ですから、その光景の復活をとっても楽しみにしています。

一月

新しい第二の人生

～神主もおもしろいよ～！

話し手：末松茂孝さん

まずテーマの面白さに惹かれました。サラリーマンから農業高校の先生に、そして定年後は神主という多彩な人生を飾らず、時には笑いを誘いながら話されました。

しかしそれは面白いというだけでなく、末松さんの人柄の良さを感じさせる実に味わい深い内容でありました。

学生時代に出合ったレイチエル・カーソンの「沈黙の春」という本に感銘を受け、自然の神秘や不思議さなど人知を越えたものに対して目を見張る思いがしたと言います。

まさに、その本に導かれるようにその後の人生を歩んでこられました。

長年携わってきた農業との関わりを通して、自然の大切さや難さ、自然の前での謙虚な心、癒してくれるものへの感謝の気持ちを持ち続けてきました。その思いが祈りの原点となって神主という道につながったように思えてなりません。

人生いろいろと言いますが、神主として世の平安と人様の幸せを祈ることを職業とし、第二の人生を満喫しておられる話に、ただ只羨望の思いで聞き入りました。(塩川)

ハッピーリタイアメント講座Ⅱ 12月10日(日)

地域があなたを待っている

講師 松本すみ子氏 (シニアライフアドバイザー)

■第一部：講演 (上記テーマで)

講師の巧みな話術と多くの事例を挙げての講演は終始和やかで、あっという間の1時間でした。

【講演の要旨】

- 1) 団塊世代を中心としたシニアについて★定年は自分と自分の生き方を見つめるチャンスである。また、個人の充実した第2の人生であり、趣味や興味があることを生かせる豊かな人生である。★シニア向けの雑誌(有料・無料)の紹介など。
- 2) セカンドライフを楽しんでいる人たちの紹介★92歳のラグーマン★親父バンド★ジャズシンガー★トレーラーで北海道を1周★自転車でフランス・シルクロードを1周★鉄道を旅する旅行作家……。楽しんでいるうちにお金になる!
- 3) 社会貢献・地域に生きる人たちの話。★おもちゃドクター★障害者のITサポーター★森林インストラクター★出前歌声喫茶……。

■第二部：グループワーク

居場所づくりをテーマに、自分が出来ること、して欲しいことなどについて話し合い、それを発表し合っ、最後に松本講師から講評を頂き、4:15に終了しました。(稲垣)

がんばってます 9



▲いなぎ市民祭でも大活躍

最初は、有志の親が子ども達の放課後活動の場をつくるために、先生方と一緒に活動をして自主的に活動をしたことから始まりました。その後、活動場所を確保して内容を充実

友遊クラブは、知的障害児(者)の放課後や余暇時間を充実させて心身の発達をつながして将来の自立を目指した活動をしています。

地域の中で 障害児(者)の自立をめざす

友遊クラブ

代表：岡部正江さん

させることができたので、現在では週5日間(月曜から金曜)24人の知的障害児(者)がスタッフと共に学校が終わった放課後に活動をしています。

活動内容は、指先の訓練を目的とした紙すきなどの創作活動、太鼓や音楽療法などの療育訓練、レストランや宿泊などの社会体験、ミニテニスや基礎体操などの体力作りなどを行っています。また、学校を卒業した人たちは、自立のために夕食作りをしたり、スポーツジムで体力作りをしています。さらに、地域の人たちとの交流を深めるために、I(あい)のまちいなぎ市民祭や各文化センターのお祭りなどにも積極的に参加しています。

代表の岡部さんは次のように述べていました。「友遊クラブは今年で10周年をむかえます。福祉の制度が変わっていく中で、子ども達の活動の場が更に充実していくように頑張りたいと思います。」(川本)

理事会（運営協議会）

ほうこく

昨年12月11日と1月9日に理事会を開催し、下記のような議題について協議しました。

12月11日.....

- ・ NPO法人認証について
- ・ 利用登録団体認証について
- ①国際Vロプチミスト稲城
- ②稲城七つの子
- ・ 事務局、各部会、実行委員会報告
- ・ 金曜サロンスペシャル1月、2月、3月の話し手について

1月9日

- ・ 事務局、各部会、実行委員会報告
- ・ 市民活動団体のための講座について
- ・ 19年度事業計画（案）につ

いて

- ・ 市民活動助成基金（仮称）について
- ・ 理事の役割分担について

金曜サロンスペシャル

■ 3月2日（金）

- ・ 話し手：安西ハツアさん
（元社会福祉協議会会長）
- ・ テーマ：いつも仲間づくりを心掛けてきた「私の生涯学習人生」
稲城の社会教育活動、福祉活動を常にリードしてきた安西さんに、活動を通じて大事にしてきたことなどについて話をさせていただきます。



▲桜の写真展（1ページ参照）が楽しみ

これからの事業予定

NPO講座《パソコン》

～ホームページの作り方(初級編)～

市民活動に役立てるため、ホームページの作り方についての講座を行います。

◇ 期日 / 3月16日（金）

◇ 時間 / 午後2時

～午後4時15分

◇ 会場 / 地域振興プラザ

◇ 内容 / ホームページの

作り方（初級編）

◇ 講師 / 秋廣洋子

（サポートセンター運営メンバー）

◇ 参加条件 /

①ワードが使える方

②当日ノートパソコンを

持参できる方

◇ 費用 / 500円

◇ 募集人数 / 12名（先着順）

◇ 申込み期限 / 2月28日

● 申込み・問合せは

サポートセンターへ

☎378-2112

編集後記

若葉台の上谷戸親水公園は、私の好きな散歩コースです。

湧き水の清らかな小川。四季折々の可憐な草花。トンボや蝶やサワガニ。時にはカワセミやサギにも出会います。

ここに来ると、いつも何故か「ほつと」します。懐かしさとも、なにか心が癒される思いです。高層マンションが建ち並ぶ場所に、こんな豊かな自然を残してくれた地元の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年、上谷戸にホタルが戻ってきました。やはり蛍の光は、とても幻想的でした。今年、ホタルの会の皆さんは、もつと沢山のホタルを乱舞させたいと考えています。とても楽しみにしています。

私は、上谷戸の蛍の里が、いつまでも自然の豊かさを保ち、育ち「市民の憩いの場（癒しの場）」子供たちのワンダーランド」となることを願ってやみません。

坂井